

北海道開発局事業審議委員会（令和2年度第1回） 審議案件一覧

	事業名	再評価理由	上段：前回評価 下段：今回再評価	事業の概要	事業期間		全体事業費 (億円)	進捗率	事業の効果等	費用便益比全体 B/C	総費用	総便益	地方公共団体等の意見	対応方針(案)	対応方針(案)決定の理由	備考
					事業化 年度	完了予 定年度										
再~1	雨竜川ダム再生事業	準備・計画段階で3年	H29新規	・既設の発電ダム(雨竜第一ダム・雨竜第二ダム)の利水容量のうち、予備放流水位以上の容量を洪水調節容量に振り替えるとともに、雨竜第二ダムのかさ上げと合わせて約2,500万m <sup>3</sup> の洪水調節容量を確保し、治水機能を付加することを目的とする。	H30	R8	195	0%	・洪水調節：雨竜川の基準地点雨竜橋において、目標流量2,400m <sup>3</sup> /sのうち100m <sup>3</sup> /sを調節し、河道への配分流量を2,300m <sup>3</sup> /sとする。	1.2	170	206	雨竜川ダム再生事業については、「継続」として対応方針(原案)について、異議はありません。 本事業は、度重なる雨竜川流域の洪水被害に対し、重要な治水対策と認識しており、治水効果の早期発現に向け、着実に事業を推進していただきたい。 なお、本調査に当たっては、関係機関と十分協議するとともに、環境への配慮や総事業費の圧縮などの検討に努めていただきたい。	継続	事業の必要性・重要性に変化はなく、費用対効果等の投資効果も確保されているため	
			R2	同上	H30	R8	約198	約4%	同上	2.1	191	408				

※前回評価 新規：新規事業採択時評価  
再：再評価

◆重点審議案件の選定要件 (a) 事業計画が顕著に変更された事業  
(b) 推定便益が顕著に減少する事業  
(c) 推定事業費が顕著に増加する事業  
(d) 事業の進捗予定が顕著に遅れている事業  
(e) その他の要因